

熊本の福祉にイノベーションを！ 人材育成の取り組みがスタート ～産学による包括連携協定を締結～

人口減少や高齢化、財源不足といった地域福祉分野の課題解決に向けては、地域福祉のための厚労省地域共生社会モデルの構築、地域福祉分野においてイノベーションを起こすことができる人材の育成、などが急務になっています。

そこで、社会福祉法人熊本市社会福祉事業団、一般社団法人SCBラボならびに崇城大学IoT・AIセンターの三者は、地域共生社会モデルの構築や人材育成を目的とした包括的連携協定を締結します。

つきましては、本包括連携協定の記者会見（趣旨説明）を下記の通り執り行いますので、報道関係各位におかれましてはご多用のことと存じますが、取材の労をお取りくださいますようお願い申し上げます。

① 記者会見

日 時 令和2年8月4日（火）午後2時30分
会 場 熊本市役所本庁舎4階 市政記者室
出席者 社会福祉法人 熊本市社会福祉事業団 理事長 永目 工嗣
一般社団法人SCBラボ 代表理事 嶋田 英敬
崇城大学IoT・AIセンター長 星合 隆成（崇城大学情報学部教授）

② 具体的な取り組み

地域共生社会モデルの構築や人材育成を目的とした以下の取り組みを継続的に実施する。

1. 崇城大学情報学部未来情報コース/IoT・AIセンターでの講義を開講

崇城大学情報学部2年・3年生（約100人）を対象に、熊本市北区役所、熊本市社会福祉事業団、ソフトバンク、早稲田大学マニフェスト研究所を講師陣とした講義を開講します。（早稲田大学との包括連携協定を別途締結予定）

2. SCB イノベーションアカデミー熊本校&オンライン校での学び

市社会福祉事業団職員が、「SCB イノベーションアカデミー（全国150の企業や個人が参画）」においてイノベーション創発手法を学びます。

3. 社会福祉事業団の拠点施設の活性化と厚労省地域共生社会「熊本モデル」の構築

市民参加型のワークショップや共同研究を実施します。

4. フクシノミライ（仮称）動画プロジェクト

崇城大学SCB放送局（大学生80名が所属）による福祉施設の紹介動画を制作します。

【お問い合わせ先】

一般社団法人SCBラボ 内藤 豊（崇城大学情報学部助教）
TEL: 090-9602-2967 EMAIL: naito@scblab.jp